

第 8 号

発行日  
2022. 7. 22

# Super Highway

## JR東労組バス関東本部



JR東労組ホームページ

## 大原記念労働科学研究所との意見交換会

本日、中央本部会議室において、大原記念労働科学研究所の濱野理事長様をはじめ3名の方にお越し頂き、意見交換会を行ないました。

夜間の運転が4夜までに制限されているが、我々の現場では、4夜行の直後に8時間以上の休息をあけて、昼間の便に乗務するという事があり、夜行連続が続くよりキツイという声がある。という意見に対し、関越ツアーバス事故後に、夜間の運転に制限をかけたのだが、その想定を超えた状況なのかもしれない、今後も更にご話を聞きたい。と応えてもらいました。

また、今後の高齢者運転の安全確保について質問をしたところ、最近タクシーの高齢者ドライバーによる事故が増えているのに注目している。健康起因事故も増えており、IT点呼の今後も含め、点呼制度の活用注目したいとのことでした。

国土交通省は、世界に誇る安全な輸送サービスの提供を実現するために、行政・事業者・利用者の‘安全トライアングル’により、総力を挙げて事故の削減に取り組むべく、第11次交通安全基本計画と期間を合わせた事業用自動車の安全プラン「事業用自動車総合安全プラン2025」を策定しているところ。現場の実態・意見を反映させる事に繋げられる可能性がある。

なお、技術的には、各人のドラレコデータの蓄積をしておく事により、今後の行路内容を入力すると、本人が今後どれくらいの疲労度合になるかを予測できるようになってきているという事です。

今後、JRバス関東本部は、JRバス東北本部・バス分科会とも連携しながら、大原記念労働科学研究所の方々と共に、`安全・働きがいのあるバス職場、を創造すべく行動してまいります。

以上

